

## 新任医師のご紹介

4月1日付で医師4名・レジデント1名が新たに加わりましたので、ご紹介いたします。

### 医 師

#### 消化器外科



#### 医長 砂川 祐輝

一人一人の生活背景や病状に応じた最善の治療法を追求します。安心して治療やケアを受けていただくために、丁寧に質の高い、信頼される治療を提供できるよう努めます。消化器外科に関する相談がございましたら、気軽にご連絡ください。

#### 循環器内科



#### 副医長 都築 一仁

患者様お一人お一人の病態の把握および同病態に対するマネジメントを精一杯させていただきますと考えております。また、他の科の医師やスタッフと協力してより良い医療を提供できるように日々努力していきたいと思っています。よろしく申し上げます。

#### 消化器内科



#### 医師 岩田 翔太

患者様は病院に来られた際には、様々な不安を感じておられると思います。分かりやすく丁寧な説明を心がけ、お一人お一人のご希望に沿って一緒に治療に臨みたいと考えています。医師、看護師、様々な医療スタッフと協力し、より良い医療をご提供できるように日々精進して参ります。よろしく願いいたします。

#### 消化器内科



#### 医師 天野 博仁

患者様、一人一人の立場となってその人にとっての最適な診療・生活とは何かを常に考えて参ります。医療スタッフとも協力してより良い医療を提供できるように努力していきます。宜しく申し上げます。

### レジデント

糖尿病・内分泌内科 レジデント 今泉 早也香

### 転出者のご報告（医師・レジデント）

消化器外科	医長 多代 充	・	循環器内科	副医長 泉本 真孝
泌尿器科	副医長 渡邊 麻里	・	消化器内科	医師 嶋田 貴仁
整形外科	レジデント 木村 良彦			

### 今号の主な内容

#### ◆ 2面 「当院における消化器疾患に対する取り組み」

外科 主任医長 山田 豪

#### ◆ 3面 「当院呼吸器内科のご紹介」

呼吸器内科 医長 竹内 章

## 名古屋セントラル病院における消化器疾患に対する取り組み 「内視鏡センターと膵・胆道疾患センター」

### 内視鏡センター

消化管疾患に関しては、超音波内視鏡、カプセル内視鏡、小腸内視鏡などの先端機器を備え、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医が最新の検査・治療に対応できる体制を整えています。胃カメラ・大腸内視鏡検査においては鎮静剤や経鼻内視鏡を積極的に使用し、患者さんの苦痛の低減に努めています。また、高画質・高精細ハイビジョン内視鏡を用い、粘膜の血管を鮮明に表示するNBIや100倍の高解像度画像により、早期癌の発見・診断に取り組んでいます。大腸内視鏡検査では新しい腸管洗浄薬を用いて下剤を減量、リアルタイムでの内視鏡位置確認、柔らかい内視鏡の使用により患者さんの苦痛を和らげています。さらに、空気よりも100倍以上早く吸収される炭酸ガスを用い、腹部膨満感をすみやかに解消させています。

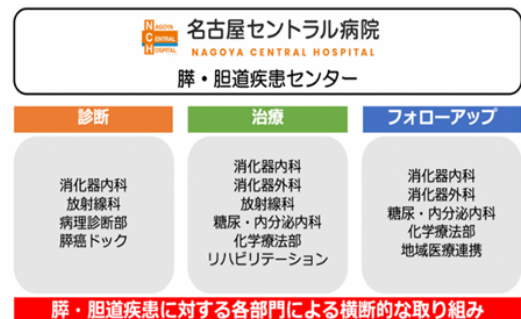
早期の食道・胃・大腸癌については粘膜下層切開剥離術（ESD）を積極的に行ない、侵襲の軽減に努めています。新しい処置具や送水機能付き内視鏡、電圧電流を自動制御する最新の高周波装置の導入により出血や穿孔などのリスクを下げ、短時間で処置を行なっています。

### 膵・胆道疾患センター

当院は日本肝胆膵外科学会の高度技能専門医修練施設であり、高度技能指導医・高度技能専門医によるチーム医療として膵癌を中心とした膵腫瘍性疾患、胆石症を含めた胆道疾患の積極的な外科治療に取り組んでいます。特に、難治性癌である膵癌治療においては、全国から数多くの患者さんのご紹介頂き、高難度な膵癌手術を実施しています。

これらの膵・胆道疾患の診断や治療においてはさまざまな診療科だけでなく、看護師や技師などコメディカル部門も含めた横断的なチームを構成することにより、個々の患者さんに対する最善のオーダーメイド治療の提供が求められています。そこで、当院ではベストな治療を提供できるシステムとして「膵・胆道疾患センター」を新たに構築しました。

さらに、膵癌治療においては早期診断の重要性が指摘されていますので、当院では「膵がん簡易検査」を新たに設けました。糖尿病、慢性膵炎、膵嚢胞の患者さん、ご家族に膵癌を患ったことのある患者さんには、是非、当院の検査をお勧めください。



<患者さん及びご家族の相談窓口>

膵・胆道疾患センター

052-452-3126 ※受付時間:平日9:00~16:00

<診療所・病院の先生方の相談窓口>

地域・法人連携室

052-452-3196 ※受付時間:平日9:00~16:00

### 消化器疾患ご紹介のお願い

当院では胃がんや大腸がんなどの消化管腫瘍、肝がんなどの肝胆膵領域の腫瘍、胆石症、急性虫垂炎、消化管穿孔、痔疾患、ヘルニアなど、消化器領域の疾患を幅広く扱っています。また、患者さんに合った安全な治療（オーダーメイド治療）を心がけ、治療後の患者さんに対してもチームスタッフ全員で丁寧な管理・回診につとめ、お元気に退院、外来通院ができるように全力でサポート致します。

病診連携医の先生方におかれましては、当院への患者様のご紹介につき、何卒、宜しく願い申し上げます。

# 当院呼吸器内科のご紹介

## 呼吸器内科について

呼吸器内科では急性呼吸器感染症に対する治療、慢性呼吸器疾患の治療、呼吸器悪性腫瘍に対する集学的治療を軸として、種々の呼吸器疾患に対する外来・入院診療を行っています。肺炎や胸膜炎といった呼吸器感染症に対しては、抗生剤治療や全身管理に加えて、肺抗酸菌症や真菌症といった他疾患の評価をしたり、背景に潜む慢性呼吸器疾患にも目をくばりながら診療を行っています。慢性呼吸器疾患に対しては、より重症な患者さんの診療を担うことが当院の役割と考えており、必要な症例に対して呼吸リハビリテーションや在宅酸素療法・在宅NPPV療法の導入を行い、患者さんのQOL向上を目指した介入を行っています。肺癌をはじめとした呼吸器悪性腫瘍に対しては、最新のガイドラインに則って分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害剤をはじめとした薬物療法・放射線療法を行ったり、各種症状緩和のための種々の治療を行っています。また、健康診断で肺結節や胸水貯留を指摘された際には、正確な診断を目指して積極的に気管支鏡検査や胸腔鏡検査などを実施しています。

### 医師



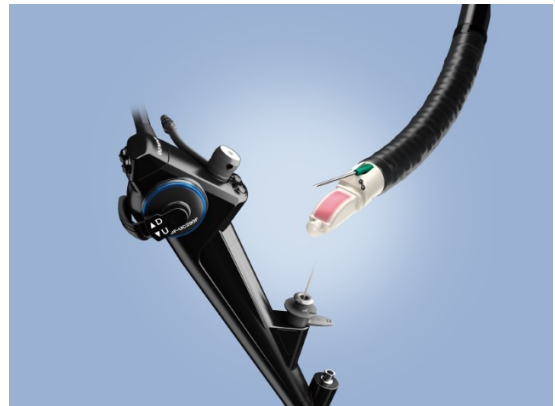
富田医長

竹内医長

坂倉副医長

## 新医療機器について

肺門・縦隔リンパ節に対する生検は、通常の気管支鏡では実施が困難であり、全身麻酔下による縦隔鏡検査が行われておりましたが、侵襲が高く、実施できる施設が限定されていました。今回当院で導入となる超音波気管支鏡ガイド下縦隔リンパ節生検(以下EBUS-TBNA)は、従来の気管支鏡と類似する手法で、縦隔リンパ節に対する組織診断を実施することが可能になる画期的な手法です。サルコイドーシスをはじめとした良性疾患、肺癌や悪性リンパ腫と言った疾患の診断に対する有用性が高く、最短1泊2日の入院検査で対応できるため、縦隔鏡よりも患者さんの負担が少なく実施できます。



画像提供：オリンパスマーケティング株式会社

手術が困難な肺癌患者さんに対する呼吸器内科医の役割はますます高くなると考えており、その重責に応えることができるよう、引き続きスタッフが一丸となって高度医療を提供して参ります。呼吸器科疾患のご相談はぜひ当院をお願いします。

## Topics

### ■ 手術ロボットhinotori（泌尿器科）の内覧会を行いました

3月より運用を開始した手術ロボットhinotoriの内覧会を行いました（2022年2月26日）。9連携医療機関 計10名の先生方にお越しいただき、説明を聴講いただくとともに実際に機器に触れて手術模擬体験をしていただきました。今後更に前立腺癌治療に貢献して参ります。前立腺癌の患者様はぜひ当院へご紹介いただきますよう、お願いいたします。



### ■ 4月1日付で新入職員を迎えました

4月1日より、研修医5名・看護師25名・診療放射線技師2名・臨床検査技師1名の計33名が当院で新社会人としてスタートを切りました。新しいメンバーとともに更なる地域医療への貢献を目指し、日々精進して参ります。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



## Event

### ■ 第110回病診連携勉強会

日 時：2022年6月21日（火）14：00～

会 場：名古屋セントラル病院 2階 多目的ホール

テーマ：高血圧性腎臓病について

講 師：腎臓内科 科長 森田 良樹

日本医師会生涯教育講座 カリキュラムコード：74（高血圧症）

#### ■ 病院理念

- 1 安全で質が高く、快適でまごころのこもった患者本位の医療
- 2 健全な病院経営による地域社会への貢献
- 3 協力、責任感、積極性にあふれた活力ある病院づくり

#### ■ ビジョン

- 1 地域の中核病院として、常に先進的で専門的、良質で効率的な急性期医療を提供する
- 2 医学的根拠に基づく医療を確実に実践し、部門や職種を超えた安心で信頼感のあるチーム医療を提供する
- 3 充実した救急医療と予防医療を提供する
- 4 地域の医療機関と綿密に連携し、受診される皆さまに最適な医療環境を提供する

編集：名古屋セントラル病院 地域・法人連携室

〒453-0801 名古屋市中村区太閤三丁目7番7号 TEL:052-452-3165（代表） FAX:052-452-3182

E-mail:hospital@jr-central.co.jp

URL:https://nagoya-central-hospital.com